

埼玉工業大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

NO	科目名	実施時期	曜日	時限	教室	授業時間	定員
1	精神保健学	後期	月	2	3011	1時限 9時10分～10時40分 2時限 10時45分～12時15分 3時限 13時10分～14時40分 4時限 14時45分～16時15分 5時限 16時20分～17時50分	若干名
2	ヒューマンインターフェイス		水	3	3021		
3	コンピュータアーキテクチャ		金	1	2622		
4	コンピュータ・グラフィックス		金	1	633		
5	ヒューマン・マシンシステム		木	3	2633		
6	量子力学		水	3	611		
7	機械工学科全科目(実験実習を除く)						

※各科目とも授業は14回の予定です。

※授業は9月14日(月)から開始します。一部変則な取扱がありますので注意してください。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR高崎線岡部駅下車 徒歩15分 自家用車による通学可(駐車場無料)

各地区からのスクールバス案内 <http://www.sit.ac.jp/access/index.html>



関越道利用の場合

関越道花園インター(熊谷・深谷方面)出口から国道140号線バイパスを直進し(3.7km約・6分)大きな交差点(大学の看板あり)を左折します。道なりに直進(5.0km・約7分)、5つ目の交差点(大学の看板あり)を右折し直進(2.0km・約2分)してください。およそ大学まで17分程度で到着します。

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。
- (3) 1度取めた受講料は、いかなる場合でもお返しできないので、ご注意ください。

3 各授業科目の概要及び担当教官

NO	科目名	担当教官等	概要
1	精神保健学	心理学科 友田貴子准教授	「精神保健学」は心の健康を扱う学問であるが、以前は「精神障がい」など一部の特殊な人々の問題として受け止められている傾向が強かった。しかし心の問題は客観的対象になりにくく、健康と不健康の境界はあいまいである。近年では、精神障がい有するかどうかにかかわらず、心の健康の維持・増進を図る、「心の健康づくり」が精神保健の主目的となってきた。本講座では、心の問題や不適用に関して、個人のライフ・スタイルとも関連させながら解説する。
2	ヒューマン インターフェイス	情報社会学科 関谷富男教授	現代社会では大部分のヒトたちが人工環境の中で生活していて、その種類や複雑性が増大している。ヒトにはヒト特有の感情や人生観があるが、人工的システムは冷静で客観的な動作をする。両者は本質的に異質であるため、場合によってはストレスが高じたり生命の危険を招く恐れさえあり、協調・整合していく以外に道はない。ヒトと人工的システムが協調・整合していくために必要な基本事項を理解していけるよう努めたい。
3	コンピュータ アーキテクチャ	情報システム学科 坂本政祐准教授	コンピュータアーキテクチャとはコンピュータシステム的设计思想であり、ハードウェアとソフトウェアの非常に様々な要因を考慮して決定されるものである。本講義ではこれら様々な構成要素について学ぶことで、過去から現在までのコンピュータが何故それぞれ特有の設計思想を取るようになったかを理解する。まずコンピュータシステムの基本動作原理を説明し、次にその機能のうち制御、演算、命令セットなどについてを詳述する。
4	コンピュータ・グラフィックス	ヒューマン・ロボット学科 村上守彦講師	UNIXマシンに標準搭載の画像処理ソフトGIMPがようやく日本版が発表された。長い間に世界中からScriptが寄せられ、便利な機能も増えて、フリーウェアながら高機能になり、プレゼンの品質向上に力を発揮するようになってきた。文書の作成やパワーポイントに依る発表などに一格上のプレゼンテーションが出来るように、画像処理ソフトを習熟すること、卒業論文発表に使うPowerPointを習得する。
5	ヒューマン・マシンシステム	ヒューマン・ロボット学科 吉本堅一教授	自動車、ITS、建設機械、荷役機械、船舶など人間が運転操作する機械システムの基本的な設計概念を学ぶ。機能、性能設計に加えて安全性、フェイルセーフ設計などヒューマンファクタも考慮して、運転操作し易いシステムの実現を目指す。併せて、システム開発のプロセスを知り、社会と機械システムの相互関係を考え、人間中心の機械システムのあり方を理解する。
6	量子力学	基礎教育センター 志摩一成教授	分子や原子のサイズ以下の小さな微小距の自然・物理現象は、我々が体験する身の回りの巨視的距離の自然・物理現象とは、「全く異なる自然観(見方)・考え方(量子力学)」によって理解できます。その、「全く新しい自然観(描像)」を、体系化・定式化したものが量子力学であり、今日の最先端の科学技術の根幹をなしている物理学です。講義では、「量子力学」を、特別な数学的・物理的予備知識を前提にせず、平易に話す予定です。
7	機械工学科 実験実習を除く、全科目		機械工学科シラバス参照

4 受講の申込み

(1) 申込期限 平成21年8月21日(金)消印有効

(2) 申込先

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690

埼玉工業大学 教務課リカレント係

電話:048-585-6813

FAX:048-585-5939

(3) 申込方法

必ず往復ハガキにより申し込みください。また、以下の事項をもれなく記入ください。

- ①住所
- ②氏名(フリガナ)
- ③年齢(昭和29年4月1日以前生まれの人)
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目(何科目でも可)

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。